



2026年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2026年5月15日

上場会社名 リバーエレテック株式会社
 コード番号 6666 URL <https://www.river-ele.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 萩原 義久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務本部長 (氏名) 天野 伸幸

TEL 0551 - 22 - 1211

定時株主総会開催予定日 2026年6月25日 配当支払開始予定日

2026年6月26日

有価証券報告書提出予定日 2026年6月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	5,784	1.5	70		54		12	
2025年3月期	5,698	4.5	75		60		79	

(注) 包括利益 2026年3月期 171百万円 (29.7%) 2025年3月期 131百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	1.48		0.3	0.5	1.2
2025年3月期	9.66		1.8	0.6	1.3

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 百万円 2025年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	10,709	4,586	42.8	557.29
2025年3月期	10,789	4,497	41.7	546.50

(参考) 自己資本 2026年3月期 4,586百万円 2025年3月期 4,497百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	315	128	175	2,182
2025年3月期	186	859	722	2,195

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期		5.00		5.00	10.00	82		1.8
2026年3月期		5.00		5.00	10.00	82		1.8
2027年3月期(予想)		5.00		5.00	10.00			

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,965	3.6	4		31		46		5.69
通期	5,943	2.7	84		23		2		0.33

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期	8,692,652 株	2025年3月期	8,692,652 株
期末自己株式数	2026年3月期	462,686 株	2025年3月期	462,686 株
期中平均株式数	2026年3月期	8,229,966 株	2025年3月期	8,230,006 株

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日 ~ 2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	5,464	1.2	65		10		9	
2025年3月期	5,399	5.7	50		84		85	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	1.15	
2025年3月期	10.37	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	8,748	3,247	37.1	394.64
2025年3月期	8,548	3,278	38.4	398.41

(参考) 自己資本 2026年3月期 3,247百万円 2025年3月期 3,278百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。(決算補足説明資料の入手方法)2026年6月12日(金)に開催予定の機関投資家・アナリスト向け決算説明会後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、インフレの落ち着きが見られたものの、地政学リスクの高まりに伴う原油など資源価格の変動や米国の関税政策に端を発した貿易摩擦、中国経済の停滞長期化などにより、先行き不透明な状況が続きました。電子部品業界においては、生成AIの普及に伴うデータセンター投資が市場を牽引した半面、中低価格帯スマートフォンなどの回復遅れがみられ、分野ごとに明暗が分かれる一年となりました。

こうした事業環境のなか、当社グループは中期経営計画「R2027」の達成に向けた事業基盤の強化を推進しております。次世代通信・インフラ市場向けに開発した超低位相ノイズ水晶発振器「KCRO-05」(2025年12月発表)は、年明け以降その認知度が徐々に浸透し、海外からのサンプル依頼や設計案件が増加しております。また、個別の案件におきましても、最終製品の開発スケジュールに合わせた最適な仕様の作り込みや、量産化に向けた細かな調整を継続しております。さらに、注力するモビリティ市場では、車載向け新規生産ラインの本格稼働にあわせ、国際的な品質マネジメントシステム規格「IATF16949」の認証を取得し、受注拡大に向けた体制を整えました。

既存の主力製品である音叉型水晶振動子につきましては、上期こそスマートフォン向けの受注減による影響を受けましたが、その後は医療・ヘルスケア向けを中心に大幅な受注回復が見られたことから、下期の業績予想に対し損失が大幅に縮小しました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は、産業機器や医療・ヘルスケア向け製品の好調が寄与し、5,784百万円(前期比1.5%増)の増収となりました。利益面におきましては、第4四半期に力強い収益改善を果たしたものの、通期では原材料価格や人件費の高騰といったコスト増加要因を増収分で完全に吸収しきれず、営業利益は70百万円の損失(前期は75百万円の営業損失)となりました。また、経常利益は54百万円の損失(前期は60百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する当期純利益は12百万円の損失(前期は79百万円の親会社株主に帰属する当期純損失)となりました。

なお、当社グループは水晶製品事業の単一セグメントのため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ79百万円減少し、10,709百万円となりました。流動資産については、主に原材料及び貯蔵品134百万円の増加等により、前連結会計年度末に比べ182百万円増加し、6,599百万円となりました。固定資産については、主に機械装置及び運搬具252百万円の減少等により、4,109百万円となりました。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ168百万円減少し、6,123百万円となりました。これは主に短期借入金の減少51百万円、設備関係電子記録債務87百万円の減少等によるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ88百万円増加し、4,586百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少94百万円、その他有価証券評価差額金の増加60百万円、為替換算調整勘定122百万円の増加等によるものであります。

この結果、自己資本比率は42.8%(前連結会計年度末は41.7%)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ12百万円減少し、2,182百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、マイナス要因として棚卸資産の増加額155百万円等があったものの、プラス要因として減価償却費616百万円等があったことにより、315百万円のプラスとなりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、プラス要因として定期預金の払戻による収入1,340百万円等があったものの、マイナス要因として定期預金の預入による支出1,313百万円、有形固定資産の取得による支出437百万円等があったことにより、128百万円のマイナスとなりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、プラス要因として長期借入れによる収入1,500百万円等があったものの、マイナス要因として長期借入金の返済による支出1,514百万円等があったことにより、175百万円のマイナスとなりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	2026年 3月期
自己資本比率	42.7%	47.5%	43.7%	41.7%	42.8%
時価ベースの自己資本比率	107.5%	60.7%	54.3%	30.1%	55.4%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	3.1	3.0	4.1	26.0	15.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	17.8	26.2	22.3	3.5	5.3

[算式] 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

- (注) 1. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
 2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
 3. キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用し、有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。なお、当連結会計年度より、有利子負債にリース債務を含めております。この変更を反映させるため、前連結会計年度以前の数値を再計算しております。

(4) 今後の見通し

2027年3月期の見通しにつきましては、地政学リスクや通商政策の動向、資源価格の変動など、引き続き予断を許さない状況が続くことが予想されます。電子部品市場におきましては、生成AIの普及に伴うデータセンター投資が牽引役となり、中長期的な成長期待は一段と高まっております。

特に、次世代データセンターの基幹技術となる1.6T光トランシーバー市場においては、625MHz製品の需要が2028年に向けて拡大期を迎えるものと予想されております。一方で、足元では市場全体の導入スケジュールが精査される過程で、本格的な立ち上がり時期が当初想定より後ろ倒しとなる傾向も見受けられます。こうした市場環境の変化に対し、戦略新製品「KCRO-05」のさらなる高精度化や量産体制の最適化を推進しております。当社グループでは、今期を将来の飛躍に向けた重要な基盤構築の期間と位置づけ、市場の本格的な拡大期に合わせて収益を加速度的に成長させるべく、中長期的な視点に立った経営資源の最適配分に取り組んでまいります。

次期の連結業績につきましては、前期に受注が回復傾向にある音叉製品や、IATF16949の認証取得により信頼性が高まった車載関連向けが引き続き堅調に推移することを見込んでおります。これら既存主力分野の安定成長を基盤に、売上高は5,943百万円を見込んでおります。利益面におきましては、将来の成長を見据えた新製品開発等に係る先行投資負担は継続するものの、増収効果に加え、生産効率の向上や継続的なコスト削減の取り組みにより収益性の改善を図ることで、営業利益84百万円、経常利益23百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2百万円と、各段階利益において黒字転換を見込んでおります。なお、当該見通しの想定為替レートは1米ドル＝155円を前提としております。

なお、業績見通しにつきましては、当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと大きく異なることがあります。業績予想修正の必要性が生じた際には速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、企業間及び経年での比較可能性を確保するため、当社の連結財務諸表は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則(第7章及び第8章を除く)」(昭和51年大蔵省令第28号)に基づいて作成しております。

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,849,439	2,814,990
受取手形及び売掛金	1,241,030	1,309,307
電子記録債権	9,219	8,915
商品及び製品	254,849	224,254
仕掛品	612,292	667,116
原材料及び貯蔵品	1,012,102	1,146,182
その他	441,732	432,099
貸倒引当金	△2,943	△3,010
流動資産合計	6,417,722	6,599,855
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,561,662	3,446,184
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,889,035	△2,840,696
建物及び構築物(純額)	672,627	605,488
機械装置及び運搬具	11,710,702	11,667,520
減価償却累計額及び減損損失累計額	△9,761,627	△9,970,633
機械装置及び運搬具(純額)	1,949,075	1,696,887
工具、器具及び備品	1,143,306	1,045,525
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,031,734	△954,643
工具、器具及び備品(純額)	111,571	90,882
土地	415,429	415,429
リース資産	180,925	186,429
減価償却累計額及び減損損失累計額	△80,903	△102,319
リース資産(純額)	100,022	84,109
建設仮勘定	795,937	829,191
有形固定資産合計	4,044,662	3,721,988
無形固定資産		
ソフトウェア	24,149	19,686
その他	9,466	9,466
無形固定資産合計	33,615	29,152
投資その他の資産		
投資有価証券	165,443	249,896
繰延税金資産	38,525	33,293
その他	89,655	75,475
投資その他の資産合計	293,625	358,665
固定資産合計	4,371,902	4,109,805
資産合計	10,789,625	10,709,660

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	248,627	313,061
電子記録債務	47,167	7,756
短期借入金	400,943	348,980
1年内返済予定の長期借入金	1,401,750	1,403,646
未払法人税等	28,967	21,088
賞与引当金	112,961	84,461
役員賞与引当金	7,812	7,812
設備関係電子記録債務	93,983	6,336
その他	489,393	426,153
流動負債合計	2,831,607	2,619,296
固定負債		
長期借入金	2,928,134	2,911,504
長期未払金	1,600	1,600
繰延税金負債	438	41,502
役員退職慰労引当金	150,010	157,860
退職給付に係る負債	300,552	324,841
その他	79,626	66,552
固定負債合計	3,460,360	3,503,859
負債合計	6,291,968	6,123,156
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,681,829	1,681,829
資本剰余金	643,845	643,845
利益剰余金	2,007,167	1,912,696
自己株式	△250,345	△250,345
株主資本合計	4,082,496	3,988,026
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,438	120,149
為替換算調整勘定	355,722	478,328
その他の包括利益累計額合計	415,160	598,478
純資産合計	4,497,657	4,586,504
負債純資産合計	10,789,625	10,709,660

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	5,698,619	5,784,902
売上原価	4,436,431	4,543,972
売上総利益	1,262,188	1,240,929
販売費及び一般管理費	1,337,908	1,311,696
営業損失(△)	△75,720	△70,766
営業外収益		
受取利息	37,638	38,006
受取配当金	3,361	4,640
為替差益	5,397	21,821
受取補償金	9,796	-
その他	10,251	12,214
営業外収益合計	66,446	76,681
営業外費用		
支払利息	49,936	59,020
その他	1,250	1,397
営業外費用合計	51,186	60,417
経常損失(△)	△60,461	△54,502
特別利益		
固定資産売却益	-	225,862
特別利益合計	-	225,862
特別損失		
固定資産除却損	128	4,759
投資有価証券評価損	-	3,765
為替換算調整勘定取崩損	-	129,075
特別損失合計	128	137,600
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△60,590	33,759
法人税、住民税及び事業税	19,663	27,123
法人税等調整額	△766	18,807
法人税等合計	18,897	45,930
当期純損失(△)	△79,487	△12,171
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△79,487	△12,171

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純損失(△)	△79,487	△12,171
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,915	60,711
為替換算調整勘定	184,489	122,606
その他の包括利益合計	211,405	183,317
包括利益	131,917	171,146
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	131,917	171,146
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,681,829	643,845	2,168,954	△250,306	4,244,323
当期変動額					
剰余金の配当			△82,300		△82,300
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△79,487		△79,487
自己株式の取得				△38	△38
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	-	△161,787	△38	△161,826
当期末残高	1,681,829	643,845	2,007,167	△250,345	4,082,496

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	32,523	171,232	203,755	4,448,078
当期変動額				
剰余金の配当			-	△82,300
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			-	△79,487
自己株式の取得			-	△38
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	26,915	184,489	211,405	211,405
当期変動額合計	26,915	184,489	211,405	49,578
当期末残高	59,438	355,722	415,160	4,497,657

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,681,829	643,845	2,007,167	△250,345	4,082,496
当期変動額					
剰余金の配当			△82,299		△82,299
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△12,171		△12,171
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	-	△94,471	-	△94,471
当期末残高	1,681,829	643,845	1,912,696	△250,345	3,988,026

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	59,438	355,722	415,160	4,497,657
当期変動額				
剰余金の配当			-	△82,299
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			-	△12,171
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	60,711	122,606	183,317	183,317
当期変動額合計	60,711	122,606	183,317	88,847
当期末残高	120,149	478,328	598,478	4,586,504

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△60,590	33,759
減価償却費	630,253	616,357
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△27,037	4
賞与引当金の増減額(△は減少)	△31,096	△28,499
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10,850	7,850
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△5,832	24,289
受取利息及び受取配当金	△41,000	△42,646
支払利息	49,936	59,020
為替差損益(△は益)	△20,113	△857
固定資産売却損益(△は益)	-	△225,862
為替換算調整勘定取崩損	-	129,075
固定資産除却損	128	4,759
投資有価証券評価損益(△は益)	-	3,765
受取補償金	△9,796	-
売上債権の増減額(△は増加)	△353,135	△63,344
棚卸資産の増減額(△は増加)	69,360	△155,747
仕入債務の増減額(△は減少)	△11,689	24,949
未収入金の増減額(△は増加)	△2,254	△2,409
未払金の増減額(△は減少)	4,092	△7,029
前受金の増減額(△は減少)	△8,895	△9,121
その他	△27,126	△8,739
小計	166,054	359,571
利息及び配当金の受取額	40,958	42,531
利息の支払額	△53,882	△59,946
法人税等の支払額	△9,136	△28,396
法人税等の還付額	32,253	1,437
補償金の受取額	9,796	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	186,044	315,198
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,335,116	△1,313,740
定期預金の払戻による収入	1,465,277	1,340,088
有形固定資産の取得による支出	△992,187	△437,575
有形固定資産の売却による収入	29,028	285,003
無形固定資産の取得による支出	△23,837	△1,980
投資有価証券の取得による支出	△2,595	-
その他	120	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△859,311	△128,203
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△56,719	△51,962
長期借入れによる収入	2,300,000	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△1,408,237	△1,514,734
リース債務の返済による支出	△29,732	△26,764
自己株式の取得による支出	△38	-
配当金の支払額	△82,300	△82,299
財務活動によるキャッシュ・フロー	722,971	△175,760
現金及び現金同等物に係る換算差額	132,993	△23,429
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	182,697	△12,195
現金及び現金同等物の期首残高	2,012,328	2,195,026
現金及び現金同等物の期末残高	2,195,026	2,182,830

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至2025年3月31日)

当社グループは、水晶製品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至2026年3月31日)

当社グループは、水晶製品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)		当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)	
1株当たり純資産額	546.50円	1株当たり純資産額	557.29円
1株当たり当期純損失金額(△)	△9.66	1株当たり当期純損失金額(△)	△1.48

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純損失金額(△) (千円)	△79,487	△12,171
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失金額(△)(千円)	△79,487	△12,171
普通株式の期中平均株式数(株)	8,230,006	8,229,966

(重要な後発事象)

該当事項はありません。